



文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

演出家・俳優養成セミナー2012

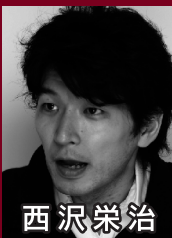
演劇大学 in あきた

2013.2/1[金]▶3[日] 秋田市にぎわい交流館

【主催】文化庁／日本演出者協会 【企画制作】演劇大学 in あきた実行委員会／日本演出者協会
【共催】秋田県演劇団体連盟



- 秋田駅西口から徒歩10分
- 車の場合隣接している「なかいち駐車場」をご利用下さい。



お問い合わせ先

秋田県演劇団体連盟事務局

〒010-1434 秋田市仁井田路見町3-17（富橋方）
TEL：090-3645-8833 FAX：018-865-0289

日本演出者協会

〒160-0023 新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL：03-5909-3074 FAX：03-5909-3075
HP：http://jda.jp/ E-mail：j_d_a_info@yahoo.co.jp

「帆をいっぱい広げて」

アマチュア演劇の歴史は戦後に始まった、と言われる。終戦（1945年）と同時に、抑圧されていた若者たちが職場で、学校で、地域で一斉に表現活動が始まったのは「演劇」が平和で自由な社会で育まれて来たことを証明している。

その後、職場演劇、青年演劇の全国コンクールが始まったり、高校演劇では現在も全国コンクールを開催している。そこで活躍した者達が核となり「地域劇団」を立ち上げ、活動を継続してきた。稀に60年を超える歴史を誇る劇団が珍しく無くなった、無理やり「老け」を演ずることなく年齢層の幅も広がったものの、高齢化による活動の陰りも見えだした。

高校演劇では少子化ばかりが原因ではない、熱心な指導者を失ない廃部に追い込まれた学校も目立つ。国語の教科書から戯曲が無くなった事にも一因があるのではなかろうか・・・。

そんな中「日本演出者協会」の御好意で、今年度から三年間にわたり、「演劇大学 in あきた」の開催が実現した。秋田県の演劇界に新鮮な風を吹き込んでくれるものと期待していると同時に、帆をいっぱい広げて、その風を受けとめ前進して頂ける事を期待したい。

秋田県で開催される「第29回国民文化祭・あきた2014」が、単なる「まつり」だけにしないで、文化活動の継続に、関係者の活力として活かされる事も期待しているからでもある。

秋田県演劇団体連盟 理事長 坂本 好逸